

令和2年度定期作況報告

6月20日現在
道総研酪農試験場

I. 気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次の通りである。

5月下旬：最高気温および最低気温が17.6および6.6℃でそれぞれ平年並であったため、平均気温は11.5℃で平年並であった。降水量は13.5mmで平年より13.7mm少なかった。日照時間は65.3時間で平年並であった。

6月上旬：最低気温は8.0℃で平年並であったが、最高気温が20.3℃で平年より1.9℃高かったため、平均気温は13.8℃で平年より1.4℃高かった。降水量は16.5mmで平年より14.8mm少なかった。日照時間は60.9時間で平年並であった。

6月中旬：最高気温および最低気温が20.2および10.8℃でそれぞれ平年より3.3および2.0℃高かったため、平均気温は15.0℃で平年より2.6℃高かった。降水量は48.0mmで平年並であった。日照時間は32.7時間で平年より7.3時間多かった。

この1ヶ月間は6月中旬の最高気温が極めて高かったことが特徴的で、総じると、気温はやや高く、降水量はやや少なく、日照時間は平年並であった。

気象表

項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (°C)	11.5	11.2	0.3	13.8	12.4	1.4	15.0	12.4	2.6	13.4	12.0	1.4
最高気温 (°C)	17.6	17.7	△ 0.1	20.3	18.4	1.9	20.2	16.9	3.3	19.4	17.7	1.7
最低気温 (°C)	6.6	5.9	0.7	8.0	7.5	0.5	10.8	8.8	2.0	8.5	7.4	1.1
降水量 (mm)	13.5	27.2	△ 13.7	16.5	31.3	△ 14.8	48.0	53.8	△ 5.8	78.0	112.3	△ 34.3
降水日数 (日)	3.0	3.7	△ 0.7	3.0	3.8	△ 0.8	6.0	4.2	1.8	12.0	12.0	0.0
日照時間 (時間)	65.3	64.7	0.6	60.9	56.6	4.3	32.7	25.4	7.3	158.9	146.7	12.2

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) △は負の値を示す

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：良

事 由

播種日は平年並で、5月下旬の気温が平年並に推移したことから、出芽期は平年と同じであった。出芽後は高温傾向で推移したため順調に生育が進んだ。6月20日現在の草丈は平年よりも8cm高く、出葉数は平年よりも1.0枚多かった。

これらのことから、目下の作況は良と判断される。

品種名	出芽期(月日)			草丈 (cm)			出葉数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	5.31	5.31	0	31	23	8	5.8	4.8	1.0

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成 22 年度から供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前 7 カ年のうち最豊年の平成 26 年および最凶年の平成 28 年を除く 5 カ年の平均値である。

4) △は減を示す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1番草 並

事由

5月下旬以降、降水量はやや少なかったが、平均気温はやや高く推移したため、生育は順調に進んだ。1番草の出穂始期は平年よりも2年目草地で2日早く、3年目草地で1日遅かった。1番草の刈取りは6月12日に行った。1番草刈取り時の草丈は平年よりも2年目草地で1cm低く、3年目草地で同程度であったことから、総じて平年並と判断される。1番草の乾物収量は2年目草地で549kg（平年比84%）、3年目草地で636kg（平年比112%）であったことから、総じて平年並と判断される。

2番草の6月20日の草丈は2年目草地、3年目草地ともに12cmであった。

以上のことから、1番草の作況は並と判断される。

草地	草種	1番草									2番草		
		1番草 出穂始期(月.日)			刈取月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	6.11	6.13	△2	6.12	6.16	△4	104	105	△1	12	49	△37
「なつちから」3年目	TY単播	6.12	6.11	1	6.12	6.16	△4	102	102	0	12	47	△35

草地	草種	1番草						
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	(平年比指数)
「なつちから」2年目	TY単播	3065	3701	△636	549	652	△103	(84)
「なつちから」3年目	TY単播	3767	3036	731	636	569	67	(112)

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平成30年度から供試品種を「ノサップ」から「なつちから」に変更している。

3) 平年値は前7カ年のうち最凶年（2年目草地：平成28年、3年目草地：平成28年）と最豊年（2年目草地：平成26年、3年目草地：平成29年）を除く5カ年の平均値である。

4) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況：1 番草 不良

作況：2 番草 良

事由

5 月下旬の気温は平年並であったが、降水量はやや少なく、先月に引き続き生育の停滞がみられた。1 番草の草丈は平年よりも 2 年目草地で 3 cm、3 年目草地で 8 cm低かったことから、総じてやや低いと判断される。1 番草の乾物収量は平年よりも 2 年目草地で 20 kg、3 年目草地で 67kg 少なかったことから、総じて不良と判断される。

2 番草の 6 月 20 日現在の草丈は平年よりも 2 年目草地で 5 cm、3 年目草地で 9 cm高かったことから、総じて良と判断される。

以上のことから、現時点での作況は 1 番草が不良、2 番草が良と判断される。

草地	草種	1 番 草						2 番 草		
		刈取月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	6.1	6.1	0	59	62	△ 3	44	39	5
「ハルジマン」3年目	OG単播	6.1	6.1	0	43	51	△ 8	37	29	9

草地	草種	1 番 草							
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	(平年比指数)	
「ハルジマン」2年目	OG単播	895	1140	△ 245	189	209	△ 20	90	
「ハルジマン」3年目	OG単播	535	991	△ 456	113	180	△ 67	63	

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) OG：オーチャードグラス。

3) 平年値は、2 年目草地については平成 26 年～令和元年の 6 カ年の平均値、3 年目草地については平成 27 年～令和元年の 5 カ年の平均値である。

4) △は減を示す。

メドウフェスク単播

作況：1番草 並
作況：2番草 良

事由

5月下旬の気温は平年並で、降水量は少なかったものの、生育は順調に進んだ。1番草の草丈は平年よりも2年目草地で7cm高く、3年目草地で6cm低かったことから、総じて平年並と判断される。1番草の乾物収量は平年よりも2年目草地で65kg多く、3年目草地で43kg少なかったことから、総じて平年並と判断される。

2番草の6月20日現在の草丈は平年よりも2年目草地で2cm高く、3年目草地で9cm高かったことから、総じて高いと判断される。

以上のことから、現時点での作況は1番草が並、2番草が良と判断される。

草地	草種	1番草						2番草		
		刈取月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	6.1	6.1	0	53	46	7	34	33	2
「まきばさかえ」3年目	MF単播	6.1	6.1	0	38	44	△6	32	24	9

草地	草種	1番草						
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	(平年比指数)
「まきばさかえ」2年目	MF単播	1124	989	135	256	191	65	134
「まきばさかえ」3年目	MF単播	530	799	△269	116	159	△43	73

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) MF：メドウフェスク。

3) 令和2年から放牧型としてメドウフェスクの作況も掲載する。

4) 平年値は、2年目草地については平成26年～令和元年の6カ年の平均値、3年目草地については平成27年～令和元年の5カ年の平均値である。

5) △は減を示す。